



移住でまちを活性化

2007年から本格的に団塊世代の人が定年退職を迎えます。町では、北海道が行う「北の大地への移住促進事業」と連携して移住誘致活動を進めています。

北海道長期生活体験モニターに参加し当別町で生活体験した大阪府・中井さん夫妻

なぜ今、移住に取り組むのか

「2007年問題」という言葉を耳にしたことがあるでしょうか。

これまでの高度経済成長を支えてきた「団塊の世代」といわれる人々が2007年をピークに、大量に定年退職し、社会に様々な問題が起こるといわれています。その一方で、退職後の生活をどこで送るのかと模索する人たちがいます。その多くが潤いのある自分らしく生活できる場を求めています。

北海道が平成16年に首都圏の退職時期を間近に迎える団塊世代約1万人に対し行った、北海道への移住に関するアンケートでは、全体の8割が何らかの形で北海道への移住に興味を持ち、「第二の故郷探し」の動きがあることが分かりました。

このような結果を踏まえ、当別町では、町内への受け入れ態勢の整備や札幌に隣接する豊かな自然環境などの情報提供に取り組み、移住を希望する人々を積極的に受け入れる活動を始めました。

移住の取り組みは、まちにどんなメリットをもたらしてくれるのでしょうか。社会に長く貢献し、豊かな経験や技術、知識などを持つ方が当別に移住することで、まちづくりの裾野を広げるために有効な新たな人材の確保につながります。まちに

新たな息吹がおり、地域の活性化が図られると期待されます。

現在までの活動内容と

これからの予定は

昨年6月に、当別町は北海道から北海道移住促進パートナー市町村（全道で14市町）の認定を受け、美しいまちづくり課に「移住相談ワンストップ窓口」を開設しました。

10月には、民・官協働による移住促進組織「当別移住促進協議会」を創設し、移住に向けた様々なプランの検討に取り組みました。この間、第一号の移住者が決定しています。

11月以降は、「北海道長期生活体験モニター」として全国から移住希望者の受け入れを行っています。

これからは、当別移住促進協議会が中心となって、町内視察の希望者を案内するガイドの養成や、生活ガイドブックの作成、道外へのプロモーション活動や移住お試しツアーなどを実施して、積極的に移住を希望する人の誘致を進めていきます。

何より移住を考えている人が当別に好意を持ってもらえるように、まちの皆さんが、暖かく迎えることが一番ではないでしょうか。

担当 美しいまちづくり課（☎233073）

北海道長期生活体験モニター参加者の声

町では、実際の生活体験を通してまちの良さを知ってもらおうと、「北海道長期生活体験モニター」として全国から移住希望者の受け入れを行っています。ここでは、参加した2組の家族を紹介します。

移住体験日記

12月30日(金)

きろく



午前
当別手打ち蕎麦の会の納会に参加。
午後
大通公園のライトアップを見たくて札幌までドライブ。夕食は、「なかむら」に行ってみた。

かんそう

札幌へ行ってはみたものの、都市部はどここの地方も大きな違いはなく、あまり魅力的には感じられず、早々に当別に戻ってきました。

当別は、なんか落ち着きます。

当別産のそば粉で打った蕎麦は、とてもおいしかったです。

東京都

滞在期間

小栗さん一家 (12月24日から1月8日)



私たち家族は、石狩平原スキー場や滞在先の庭で雪遊びを楽しみました。

特に1番上の子供がスキーをとて好きになり、石狩平原スキー場で朝から夜の8時まで滑っていました。

北海道での生活は、自然がとても大きく、楽しく過ごせました。

神奈川県

滞在期間

富岡さん夫妻 (12月22日から1月7日)



私たちは、札幌市や旭川市などへ車でドライブをしてたくさんの自然を見て、移住体験を楽しみました。

40年ぶりのスキーがとても楽しく、滑ったあとの温泉が格別でした。

また、移住の先輩である、五賀さんとの交流もとても有意義でした。

移住体験日記

1月2日(月)

きろく



午前
石狩平原スキー場にて初級レッスン。
午後
新篠津温泉たっぷの湯。

かんそう

レッスンの後、リフトにて山頂へ。その後、先生の指導を受けて滑り降りることができ、満足感を味わいました。

午後からは、スキーで汗をかき節々が痛んだので、温泉でのんびり。

非常に気持ち良かった。

“当別町の皆さんは暖かい” 移住体験者第1号 大阪府・西川夫妻の声

私たちは、今回当別町にお世話になり、当別町の大ファンになりました。自然豊かで人に優しく（特に子供たちやお年寄りが生き生きとしている。マナーがよい）野菜がおいしく、住みやすく、“心”が癒され、元気になりました。主人と2人で移住地を探す旅であちこちに行きましたが、こんなに充実したことはありません。貴重な生活体験をさせていただき、ありがとうございます。